Marine Bio

沖縄産サンゴカルシウム

コーラルカルシウムパウダー

Coral Calcium Powder

天然サンゴ由来・機能性カルシウム素材

亜熱帯沖縄のきれいな海底から採取される
風化造礁サンゴ粒は、
サンゴ礁を形成する造礁サンゴや星の砂で
おなじみの有孔虫類から構成されています。
これらの生物は海水中から
カルシウム、マグネシウムを主とした
海洋ミネラルを摂取して骨格や殻を形成します。
そのため、この造礁サンゴの骨格化石粒には
炭酸カルシウムを主成分として、
人間が生きていくために必要な
カルシウム、マグネシウム等の多種類の
必須ミネラルを豊富に含有しています。

長寿の島と呼ばれる沖縄は
サンゴが隆起してできた島と言われ、
水や成長する植物など
日常的に食する物のミネラル含量が
本土よりも高いことが確認されており、
長寿の重要な要素として
世界的にも注目されています。

品質規格

含量		炭酸カルシウム（$CaCO_3$=100.09）として85.0%以上
性状		白～帯黄白色の粉末
確認試験		カルシウム塩の反応を呈する
純度試験	(1) 塩酸不溶物	3.0%以下
	(2) 鉛	Pbとして2μg/g以下
	(3) アルカリ金属及びマグネシウム	12.0%以下
	(4) ヒ素	Asとして3μg/g以下
乾燥減量		2.0%以下

試験方法：食品添加物公定書試験法に準拠

用途別に3種の粒度

粒度* 粒径 Pass 90%以上	用途例
44μm	カプセル 等
25μm	打錠、顆粒等
8μm	打錠、顆粒、懸濁飲料 等

原材料表示例：サンゴカルシウム、サンゴCa、
コーラルカルシウム、コーラルCa
区　　分：既存添加物「サンゴ未焼成カルシウム」
アレルギー表示：無
遺伝子組み換え：対象外
包　　装：20kgポリ内包クラフト三層袋

GMP 沖縄事業所：原材料
長野事業所：包装

【沖縄サンゴカルシウムのことなら】
マリーンバイオ株式会社
〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-7
TEL：03-3252-6351　FAX：03-3252-6355
オフィシャルサイト
http://www.marine-bio.co.jp

当社の製品原料である風化造礁サンゴは、自然死滅したサンゴの骨格化石粒であり、生きたサンゴ礁を破壊するなどの環境破壊をおこなう方法によって採取されたものではありません。

カタログ内に掲載されているすべての文章、写真の無断転載、転用を禁止します。

天然カルシウム・微量ミネラル含有素材

沖縄産サンゴカルシウム

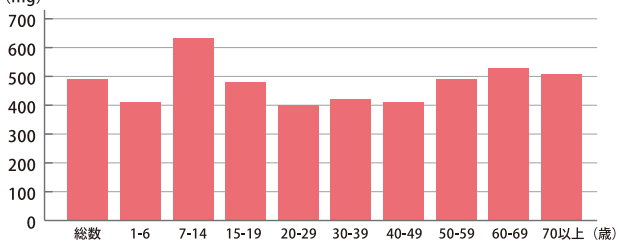
コーラルカルシウムパウダー

Coral Calcium Powder

カルシウムの栄養強化に海由来のサンゴカルシウムを

厚生労働省が定める日本人の食事摂取基準において、成人１人1日当たりのカルシウム摂取量は700mgに設定されています。しかし、毎年行われる国民健康栄養調査の結果では、慢性的な不足が指摘され続けています。(右図)
体の基礎となる栄養素であるにも関わらず、深刻なカルシウム不足は、特に妊娠出産を控える20～30歳代の女性にその傾向が強く、将来の骨粗鬆症予備軍となることが危惧されています。
サンゴカルシウム(CCP)なら、1.2ｇの配合で成人1日分のカルシウム摂取基準値の約半分にあたる360mgが処方可能です。

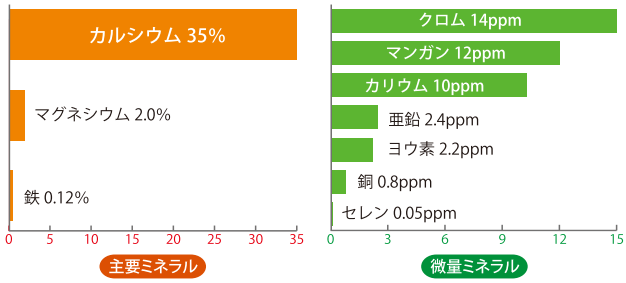
日本人の不足ミネラルの筆頭「カルシウム」



※平成22年度国民健康・栄養調査カルシウム摂取量より改編

微量ミネラルを豊富に含むマルチなカルシウム素材 (※吸収率及び体内利用効率データ取得済)

標準ミネラル含量 ※分析値平均より

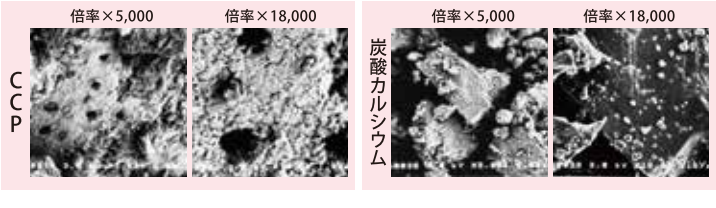


海水の豊富なミネラルをその体に吸収しながら成長するサンゴは、寿命を終えるとその骨格だけが残ります。骨格には、サンゴが成長する間に蓄えたカルシウム、マグネシウムの他、人体に必須の微量ミネラルが豊富に含まれることが特徴で、約70種ものミネラルを含むことが確認されています。一般的に吸収率やバイオアベイラビリティ(体内利用効率)の高さは、その栄養素の単体摂取時よりも複合摂取時の方が有効性が高いことは広く知られています。
母なる海の恵みをたっぷりと蓄えたサンゴカルシウム(CCP)は、微量ミネラルを豊富に含む点で、他のカルシウム素材と大きく差別化が可能です。

消化吸収性に優れる多孔質構造を持つサンゴカルシウム

サンゴの特徴のひとつである多孔質性能は不純物の吸着除去等の効果を持つ浄水剤として利用されています。サンゴの表面には、約10μm以下の微細な空孔が無数にあり、その比表面積は約2.4㎡/gです。食品用として微粉砕化された後も、その構造は維持されており、食品としての摂取においては、胃酸との接触面積が増えることにより、消化吸収性にとても優れた素材と言えます。

走査型電子顕微鏡写真 ※撮影:千葉大学工学部、東京海洋大学



高齢化で注目されるロコモティブシンドローム及びNASH※対策素材としても

(※非アルコール性脂肪性肝炎)

加齢に伴う筋力の低下、関節、脊椎の疾病、骨粗鬆症など、運動器の障害により、寝たきりや要介護の状態になることを総称して、ロコモティブシンドロームと呼ばれます。筋肉、関節、骨はすべて密接に関わりあっており、どこかひとつが欠けることにより、負のスパイラルに陥ります。単体での予防対策ではなく、総合的な予防対策が必要です。また、国内患者数は100万人を超え、その予備軍は1,000万人に近いといわれるNASH(非アルコール性脂肪性肝炎)。飲酒歴がないにも関わらず、肝細胞に著名な中性脂肪を主とする脂肪の蓄積が起こり、アルコール性肝障害と似た病理所見が認められる疾患で、治療法や治療薬の確立が出来ず、肝癌発症へといたる非常に難しい病態です。「CCP」では、NASHに対する薬理効果の検討試験を実施し、総コレステロール、血漿ALT値において、NASHにおける脂質代謝改善効果、肝障害の軽減効果が確認されました。

201603-04